

富山市城南公園の野鳥（2009年6月～2010年5月）

著者	桃花鳥の会
雑誌名	富山市科学博物館研究報告
号	34
ページ	193-196
発行年	2011-03-15
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=928

資 料

富山市城南公園の野鳥 (2009年6月～2010年5月)*

桃花鳥の会

富山市科学博物館

939-8084富山市西中野町1-8-31

Records of Birds in Jyonan Park, Toyama City, Toyama Prefecture, Japan, June 2009 to May 2010.

Toki-no-kai

c/o Toyama Science Museum

1-8-31, Nishinakano, Toyama, 939-8084, Japan

富山市の市街地の鳥類相を明らかにする目的で、富山市科学博物館に隣接する城南公園で2007年6月から鳥類調査を開始し、2009年5月までの結果は既に報告した(桃花鳥の会, 2009,2010)。今回2009年6月～2010年5月までの調査結果を報告し、あわせて、3年間の調査結果を考察する。

調査地と方法

城南公園の概要は既に述べたが(桃花鳥の会,2009)、調査期間中の環境の変化はみられなかった。調査は、2009年6月から2010年5月にかけて毎月1回、早朝(夜明け頃)30～50分間、城南公園を会員2～5名がゆっくり歩き、出現する鳥の種、個体数を直接観察と鳴き声を参考に記録した。上空を飛ぶ鳥もカウントした。平成22年度の桃花鳥の会のメンバーは、大野博美、押川たか子、金子玲子、熊木信男、田口松男、二宮美加、満保清憲、水野洋子(五十音順)で、担当学芸員は南部久男である。野鳥の同定は主に熊木が行い、全体のとりまとめは、南部が行った。

確認した鳥類

2009年6月から2010年5月の早朝の12回の調査で、上空を含むと23種の鳥類が、上空を除くと17種確認された(表1)。城南公園で確認された上空を除く鳥類を、松木(2005)の富山県の野鳥の渡り区分により分けると、留鳥14種、夏鳥2種(ツバメ、コメボソムシクイ)、冬鳥1種(ツグミ)、留鳥又は夏鳥1種(アオバト)に

なる。

早朝に城南公園とその周辺で確認された鳥(地上や公園内を飛行中)で、10回以上みられたのは、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラスの4種であり、6～9回みられたのは、キジバト、ヒヨドリ、カワラヒワの3種、2～5回確認されたのはカルガモ、ドバト、ハクセキレイ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、オナガの7種、1回だけ確認されたのは、アオバト、ツバメ、モズ、コメボソムシクイの4種であった。なお、アオバトは今回の調査で初めて確認された。

定期的な調査以外では、4月22日午後3時頃に、アオバズク1羽がカラス1羽に襲われているところを確認した。

3年間の比較

平成19年6月～平成21年5月までの調査期間中に、上空を含むと36種(亜種を1種と数えた)、地上だけでは29種が確認された(調査期間外を含めると30種)。

地上で確認された野鳥のうち、3年間の平均確認回数が10回以上確認された留鳥は5種(キジバト、ヒヨドリ、スズメ、ハシブトガラス、ハシボソガラス)で、同様に6～9回が3種(ハクセキレイ、カワラヒワ、ムクドリ)、2～5回が3種(ドバト、ウグイス、シジュウカラ)であった。これらが、この公園をよく利用している留鳥と考えられる。その他の留鳥(カルガモ、キジ、セグロセキレイ、モズ、ウグイス、イカル)は2回未満で、これらは公園に時々飛来すると思われる。

夏鳥では、ツバメが5～7月に観察され、コメボソムシクイが6月、エゾムシクイが6月、ツツドリが4月の渡りの季節に観察された。冬鳥では、1月～5月にツグミが見られ、シロハラが4月、ジョウビタキが11月、アトリが1～4月、マヒワが3月、シメが1、2、4月に観察された。渡り鳥のツバメ(夏鳥)やツグミ(冬鳥)は、公園を利用し、その他の渡り鳥は渡りの季節に時々飛来していると思われる。

上空で確認された野鳥のうち、ハシブトガラス属の一種(ハシボソガラス又はハシブトガラスと考えられる)は、早朝に南へ向かう個体が観察された。富山市中心部の城趾公園は、これらの塹になっており、今回確認されたハシブトガラス属のカラスは、早朝にエサ場へ向かっている個体と考えられる。また、確認個体数は、秋から冬に増加し、3月頃から減少し、4～8月頃には、年間を通じ最も確認個体数が少なくなった。

*富山市科学博物館研究業績第419号

この確認個体数の変化は、ハシブトガラス属のカラス生活史と対応したものと考えられる。

城南公園鳥類目録

2009年6月～2010年5月に本調査で確認した鳥類を、日本鳥学会（2000）の分類に従い記す。＜ ＞は前回又は前々回の調査で確認。＊は今回調査で確認。

ペリカン目 PELECANIFORMES

ウ科 PHALACROCORACIDAE

1.＜カワウ *Phalacrocorax carbo* (Linnaeus)＞

コウノトリ目 CICONIIFORMES

サギ科 ARDEIDAE

2.ゴイサギ *Nycticorax nycticorax* (Linnaeus)

3.＜アマサギ *Bubulcus ibis* (Linnaeus)＞

4.ダイサギ *Egretta alba* (Linnaeus)

5.コサギ *Egretta garzetta* (Linnaeus)

6.アオサギ *Ardea cinerea* Linnaeus

カモ目 ANSERIFORMES

カモ科 ANATIDAE

7.カルガモ *Anas poecilorhyncha* Forster

タカ目 FALCONIFORMES

タカ科 ACCIPITRIDAE

8.トビ *Milvus migrans* (Boddaert)

キジ目 GALLIFORMES

キジ科 PHASIANIDAE

9.＜キジ *Phasianus colchicus* Linnaeus＞

ハト目 COLUMBIFORMES

ハト科 COLUMBIDAE

10.ドバト *Columba livia* var. *domestica* Linnaeus

11.キジバト *Streptopelia orientalis* (Latham)

12.＊アオバト *Sphenurus sieboldii* (Temminck)

ホトトギス目 CUCULIFORMES

ホトトギス科 CUCULIDAE

13.＜ツツドリ *Cuculus saturatus* Blyth＞

スズメ目 PASSERIFORMES

ツバメ科 HIRUNDINIDAE

14.ツバメ *Hirundo rustica* Linnaeus

セキレイ科 MOTACILLIDAE

15.ハクセキレイ *Motacilla alba lugenus* Linnaeus
Gloger

16.＜ホオジロハクセキレイ *Motacilla alba leucopsis* Gould＞

17.＜セグロセキレイ *Motacilla grandis* Sharpe＞

ヒヨドリ科 PYCNONOTIDAE

18.ヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis* (Temminck)

モズ科 LANIIDAE

19.モズ *Lanius bucephalus* Temminck & Schlegel

ツグミ科 TURDIDAE

20.＜ジョウビタキ *Phoenicurus aureus*
(Pallas)＞

21.＜シロハラ *Turdus pallidus* Gmelin＞

22.ツグミ *Turdus naumanni* Temminck

ウグイス科 SYVIIDAE

23.ウグイス *Cettia diphone* (Kittlitz)

24.コメボソムシクイ *Phylloscopus borealis bore-*
alis (Blasius)＞

25.＜エゾムシクイ *Phylloscopus borealoides*
Portenk＞

シジュウカラ科 PARIDAE

26.シジュウカラ *Parus major* Linnaeus

アトリ科 FRINGILLIDAE

27.＜アトリ *Fringilla montifringilla* Linnaeus＞

28.カワラヒワ *Carduelis sinica* (Linnaeus)

29.＜マヒワ *Carduelis spinus* (Linnaeus)＞

30.＜イカル *Eophona personata* (Temminck &
Schlegel)＞

31.＜シメ *Coccothraustes coccothraustes*
(Linnaeus)＞

ハタオリドリ科 PLOCEIDAE

32.スズメ *Passer montanus* (Linnaeus)

ムクドリ科 STURNIDAE

33.ムクドリ *Sturnus cineraceus* Temminck

カラス科 CORVIDAE

34.オナガ *Cyanopica cyana* (Pallas)

35.ハシボソガラス *Corvus corone* Linnaeus

36.ハシブトガラス *Corvus macrorhynchos*
Wagler

参考文献

- 松木鴻謄,2005.富山県鳥類目録（平成17年3月1日現在）.
pp.185-189. 鳥たちの戦略.桂書房. 富山.
日本鳥学会, 2000. 日本鳥類目録 改訂第6版. 土倉
事務所, 京都. 345pp.
桃花鳥の会, 2009. 富山市城南公園の野鳥（2007年6月
～2008年5月）富山市科学博物館研究報告, (32):
155-159.
桃花鳥の会, 2010. 富山市城南公園の野鳥（2008年6月
～2009年5月）富山市科学博物館研究報告, (33):
165-167.

追記

城南公園で南部が本シリーズの調査開始以前に確認

富山市城南公園の野鳥（2009年6月～2010年5月）

した野鳥を報告する。

ヤマシギ、1羽、2006年3月26日

アオバズク、1羽、2006年5月18日

オオルリ（オス）、1羽、2007年5月7日

表1 確認された鳥類

調査年	2009年							2010年				
調査月日	6/4	7/15	8/5	9/2	10/2	11/5	12/3	1/21	2/19	3/17	4/14	5/11
天候	くもり	晴れ	霧雨		晴れ	晴れ		曇り時々小雪	曇り	曇り	小雨	曇り
調査時間	4:13～5:02	4:13～5:00	4:27～5:20	4:48～5:47	5:18～6:07	5:56～6:33	6:25～7:05	6:30～7:10	6:05～6:27	5:33～6:18	5:00～6:00	4:20～5:00
調査人数	5	2	5	5	5	4	5	2	4	4	3	4

和名	渡り ¹⁾	場所	個体数											確認回数
ゴイサギ	留鳥	上空	1						1				1	3
ダイサギ	夏・冬	上空		1					1	1				3
コサギ	留鳥	上空	2	1	17		2	6	9	4				7
アオサギ	留鳥	上空									2		2	2
コサギ属の一種 ²⁾		上空								3	1		1	
カワウ	留鳥	上空	1											1
カルガモ	留鳥	上空										1		1
			3										2	2
トビ	留鳥	上空					1							1
ドバト	留鳥					5	1							2
キジバト	留鳥		2	4	4		2	3		13	1	3		9
アオバト	留・夏						1							1
ツバメ	夏鳥		3											1
ハクセキレイ	留鳥		1	1			3	4	2					5
ヒヨドリ	留鳥		2				5	7	11	5	1	3	6	9
モズ	留鳥						1							1
ツグミ	冬鳥									1	2	2	2	4
ウグイス	留鳥						1				1			2
コメボソムシクイ	夏鳥		1											1
シジュウカラ	留鳥					2				1	2			3
カワラヒワ	留鳥		8	1	3	5		4	2			7	6	9
スズメ	留鳥		14	42	11	7	5	2	2	1		3	4	11
ムクドリ	留鳥		4	23	10	23	14	9		1		2	2	10
オナガ	留鳥				1	7	2							3
ハシブトガラス ³⁾	留鳥		3	2	8	7	3	8	11	5	5	7	3	12
ハシボソガラス ³⁾	留鳥		6	2	4	2	10	10	8	8	3	10	4	12
ハシブトカラス属の一種 ⁴⁾	留鳥	上空	10	44	182	387	214	222	228	215	278	50	9	10
不明小鳥										1				
計			61	121	240	433	270	282	273	257	298	89	39	38
計（上空の鳥除く）			47	75	41	46	54	53	36	35	14	28	27	26

種数（上空含む）	23		14	9	8	6	10	15	6	11	13	9	9	10
種数（上空除く）	17		11	7	7	8	9	8	6	9	12	12	13	10

1) 松木（2005）による。

桃花鳥の会

表2 第1回～3回の調査で確認された鳥類の確認月。

和名	渡り1)	調査	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	回数	平均回数2)
カルガモ	留鳥	第1回												○	1	1.7
		第2回											○	○	2	
		第3回	○											○	2	
キジ	留鳥	第1回												○	1	1
		第2回	○		○										2	
		第3回														
ドバト	留鳥	第1回			○					○					2	2
		第2回		○									○		2	
		第3回					○	○							2	
キジバト	留鳥	第1回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	10.7
		第2回	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	11	
		第3回	○	○	○		○	○		○	○	○		○	9	
アオバト	留・夏	第3回						○							1	0.3
ツツドリ	夏鳥	第1回											○		1	0.3
ツバメ	夏鳥	第1回												○	1	1.3
		第2回	○	○											2	
		第3回	○												1	
ハクセキレイ	留鳥	第1回	○						○	○	○	○		○	6	6.3
		第2回	○		○		○	○	○	○	○	○			8	
		第3回	○	○			○	○	○						5	
ホオジロハクセキレイ		第2回	○												1	0.3
セグロセキレイ	留鳥	第1回	○							○					2	1.3
		第2回				○								○	2	
		第3回														
ヒヨドリ	留鳥	第1回	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	11	10.7
		第2回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	
		第3回	○				○	○	○	○	○	○	○	○	9	
モズ	留鳥	第1回						○							1	1.3
		第2回					○						○		2	
		第3回						○							1	
ジョウビタキ	冬鳥	第1回													0	0.3
		第2回						○							1	
		第3回													0	
シロハラ	冬鳥	第1回											○		1	0.6
		第2回											○		1	
		第3回														
ツグミ	冬鳥	第1回								○			○	○	4	3.7
		第2回									○	○	○	○	3	
		第3回								○	○	○	○		4	
ウグイス	留鳥	第1回											○		1	2
		第2回	○										○	○	3	
		第3回						○				○			2	
エゾムシクイ	夏鳥	第1回												○	1	0.3
コメボソムシクイ	夏鳥	第2回	○												1	0.7
		第3回	○												1	
		第1回		○				○					○		3	
シジュウカラ	留鳥	第2回		○		○		○	○	○	○	○	○		8	4.7
		第3回				○				○	○				3	
		第1回	○	○	○						○	○	○	○	7	
カワラヒワ	留鳥	第2回	○	○	○							○	○	○	6	7.3
		第3回	○	○	○	○		○	○			○	○	○	9	
		第1回										○			1	
マヒワ	冬鳥	第2回										○			1	0.3
イカル	留鳥	第1回													0	0.7
		第2回									○	○			2	
		第3回														
アトリ	冬鳥	第1回								○	○	○	○		4	1.3
シメ	冬鳥	第1回								○	○				2	1
		第2回											○		1	
		第3回														
スズメ	留鳥	第1回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	11.7
		第2回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	
		第3回	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	11	
ムクドリ	留鳥	第1回	○	○	○	○	○				○			○	7	9
		第2回	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	10	
		第3回	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	10	
オナガ	留鳥	第1回				○						○	○	○	4	4.7
		第2回		○				○	○			○	○	○	7	
		第3回			○		○	○							3	
ハシボソガラス	留鳥	第1回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	11.3
		第2回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	
		第3回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	
ハシボソガラス	留鳥	第1回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	11.7
		第2回	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	11	
		第3回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	

1) 松木 (2005) による。

2) 3年間の平均確認回数。